

フクジュソウ

Adonis amurensis

キンボウゲ科

カテゴリー

大分県 IA

環境庁 II



種
子
植
物

丘陵地や低山地の谷草原に生える高さ15～30cmの多年草。葉は羽状複葉で互生し、基部の葉は鱗片状のさやとなっている。花は早春の3～4月、新葉とともに径3～4cmの光沢のある黄色の花をつけ、日が当たると上向きに平開する。5月下旬には実を結び、地上部は姿を消す。県内の生育地は点在し、個体数も極めて少ない。草地開発や野焼きの停止による植生遷移、さらには人による採取で生育地が消滅しており、絶滅の危険性が極めて高い。

(写真：阿孫久見 文：瀬戸屋耕二)

県内分布 九重火山群，由布・鶴見火山群，大分川・大野川丘陵地

分布域 北海道，本州，九州（大分・宮崎・鹿児島）

千島

国立・国定公園指定植物 【阿蘇くじゅう】